

事業番号 0142

(事業名) 有人国境離島政策の推進に必要な経費

(担当部局) 総合海洋政策推進事務局

－公開プロセスの評価結果－

<取りまとめコメント>

①成果目標に関して

現状では、個々の施策の効果が不明なものが多い。各地域の人口減少の原因分析とその解決に資するものかどうか再検討する必要がある。その際、都道県計画において KPI が設定されていることから、それらを使った全体の KPI を作成し、本事業の成果指標とするべきである。なお、15 の地域、71 の島、それぞれの個別事情に合わせた成果指標があればわかりやすい。

②事業の改善に関して

この事業全体としてではなく、各地域におけるニーズを勘案した効果を、それぞれ確認すべきである。他方で、国益に関わることなので、地方自治体に任せるだけではなく、国として積極的で思い切った関与も必要。その際、国（総合海洋政策推進事務局）が考える緊急度の高い順番に重点化した成果把握が必要であろう。

<外部有識者のコメント>

①成果目標に関して（ex. アウトカムが適切に設定されているか、事業の進捗や効果について成果目標に照らした点検及び改善が行われているか 等）

・ロジックモデルを強く意識して取り組まれている点は評価に値する。但し、施策については、各地域の人口減少の原因の分析とその解決に資するものかどうか再検討する必要がある。又、アウトカムに展開するプロセスが複雑で、わかりにくい部分があり、よりシンプル化することを検討いただきたい。

・都道府県計画における6つのKPIの変化、すなわち改善したのか、改善しなかったのか、その数をマクロ的なKPIとして採用することができないか。都道府県計画において、KPIが設定されていることから、それを使った全体のKPIを作成し、本事業のアウトカム指標とするべきである。

・測定することは難しいとは思いますが、個々の施策の効果が不明なものが多い。なにかしら工夫すべき（住民の意見はひとつの材料になるのではないかと考える）。

・15の地域、71の島、それぞれの個別事情に合わせた成果指標があればわかりやすい。

・データの取り方だが、住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数を根拠にしているが、これで現実の「人の動き」を的確に把握できるのか。

②事業の改善に関して（ex. 同じ又はより少ない予算でより多くの成果を引き出す工夫はないか 等）

・個々の地域の人口減少の原因と個々のリソースを勘案し、出来る限り効果の高い施策を展開する様、地方自治体をガイドしていくことが重要だと考える。又、優先順位は付けづらいとのことだが、緊急度や効果向上の可能性等を勘案し、地域ともすり合わせながら、施策の順位を決めることで効果向上を見込めるのではないかと考える。

・一定の成果はあるとは言え、国全体の人口が減少する中で島の人口減少を防ぐというのは非常に高い目標であり、減少数が減少したというだけでは十分な成果とは言いがたい。もっと思い切った施策が必要なのではないか。また、地方自治体に任せるだけでなく、特に島への旅行や移住を促すには都市部における国としてまとめた施策が必要なのではないか。

・資源は限られている。有人国境離島の全般・全部を対象にするのではなく、緊急度の高い地域の順番に重点化すべきではないか。緊急度が高くないと解釈されたら、他の過疎地域と同じような取り組みで良いのではないか。

③その他

- ・本事業が転出入に与える影響を分析しているが、純粹な本事業の影響を抽出することは難しいと考えられる。本事業は離島振興に上乘せされるものであり、離島振興の政策効果が入っている可能性がある。できれば、それらを分離できるとよい。本事業の対象ではなく、離島振興の対象地域との比較が重要である。
- ・関係する省庁が異なるなどの事情があるとは思いますが、島における教育、医療、通信環境、生活物資、防災等基盤整備など離島への施策の全体像がわかるとよい。
- ・内閣府が行っている他の振興法や地方創生などの地域振興事業との相乗効果、地方分権改革との調整を考えるべきではないか。
- ・どのような人に住んで欲しいのか、イメージがない。
- ・総合海洋政策推進事務局という名称の組織が、この事業を行っている。少し違和感がある。